

# 図書館だより

池田高等学校 辻校 2022年 9月号

まちがいさがし

『韓非子・株を守る』韓非【著】

中国、戦国末の思想家、韓非の言説を集めた書。20巻55編。この話から、「守株」(しゅしゅ)(株を守る)という成語ができた。意味は、「古い習慣を守って時勢に合わないこと。世の進歩や変化を知らないこと」

5カ所ある間違いを探してね!

※正解は図書館に掲示しています

9月の開館日

開館日 1日(木) 5日(月) 7日(水) 9日(金) 13日(火)  
15日(木) 21日(水) 27日(火) 29日(木)

開館時間 10:15~16:45

## 森鷗外 没後100年



小説家。本名、森林太郎。1862(文久2)年、代々津和野藩の典医を務める森家の長男として生まれる。10歳のとき父と共に上京し、ドイツ語を学び東京大学予科に最年少で入学。大学では医学を学び、卒業後軍医となる。帰国後は軍医としての仕事のかたわら、小説「舞姫」「雁」「山椒大夫」「高瀬舟」、史伝「渋江抽斎」などを執筆。医学・文学の評論や小説・戯曲等の翻訳、ヨーロッパ文学の紹介などを行い、明治を代表する知識人として活躍。

1922(大正11)年7月9日、60歳で亡くなる。

辻校図書館にも著書があります。ぜひ手に取ってくださいね！



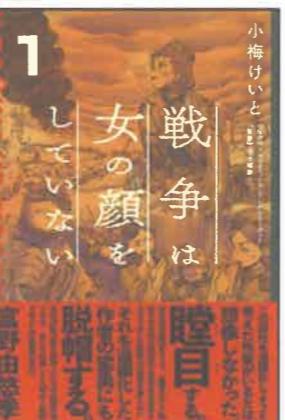
中秋の名月だよ♪  
今年は9月10日が

新着図書案内

名作まちがいさがし  
「株を守る」  
『韓非子』より

たまたま切り株にぶつかり、首を折って死んだウサギ。それを見た愚かな農夫が同じ幸運を待ち続けるエピソードから、古い習慣にこだわって進歩がないことを意味する「守株」という故事成語が生まれました。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



## 9月11日は“国際識字デー”



「国際識字デー」:1965年9月8日からイランで開催された「世界教育相会議(テヘラン会議)」において、当時のパレービー国王が各國の軍事費1日分を識字基金に拠出することを提案したのがきっかけで、アメリカのジョンソン大統領が米国議会に9月8日を「国際識字デー」に制定するように呼びかけ、UNESCOが制定しました。

「識字」とは、個人が社会とのつながりを保つための命綱です。識字能力があることにより、日常生活を安心して送ることができるようになるだけでなく、自分自身が社会の一員として包摂されていることを実感することができます。

『へいわってどんなこと?』 浜田 桂子【著】 NDC分類 E

へいわってどんなこと? 「きっとね、へいわってこんなこと。せんそうをしない。ばくだんなんかおとさない。いえやまちをはかいしない……」いろいろな視点から平和を考え、平和の意味を問い合わせます。本シリーズは、日本の絵本作家が中国と韓国の絵本作家に呼びかけ、三か国12人の協力で実現した平和を訴える絵本です。三年以上の歳月をかけ、国を越えた意見交換を積み重ね、各国の歴史を踏まえて実現した画期的な取り組みとなっています。

『陸上自衛隊ますらお日記』 ぱやはやくん【著】 NDC分類 396.21

元陸上自衛官・ぱやはやくんが描く、愛とユーモアに溢れた自衛隊ライフが書籍化!自衛隊の“ますらお”たちはユニークなエピソードが盛りだくさん。この本ではそういったお話を集め、陸上自衛官のユーモア溢れる日常や恋愛事情、家族生活などを描く史上初の本です(おそらく)。何か生活に役立つメソッドが身につくわけではありませんが、「自衛隊の無駄知識がすごく深まったぞ!」と思って頂ければそれで十分です。

『戦争は女の顔をしていない〈1〉～〈3〉』

小梅 けいと【著】 / スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ【原著】 NDC分類 726.1

第50回日本漫画家協会賞 まんが王国とつり賞 受賞!

『ノーベル文学賞』を受賞したベラルーシ出身の女性作家、スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチが第二次世界大戦中の「独ソ戦」に関わったソ連側の従軍女性を取材したノンフィクション、1984年の主著『戦争は女の顔をしていない』をコミカライズ。「戦争で一番恐ろしかったのは、男物のパンツをはいていることだよ」。ソ連の従軍女性たちの衝撃のインタビュー集。

『マスカレード・ゲーム』 東野 圭吾【著】 NDC分類 913.6

解決の糸口すらつかない3つの殺人事件。共通点はその殺害方法と、被害者はみな過去に人を死なせた者であることだった。捜査を進めると、その被害者たちを憎む過去の事件における遺族らが、ホテル・コレシア東京に宿泊することが判明。警部となった新田浩介は、複雑な思いを抱えながら再び潜入捜査を開始する——。累計480万部突破シリーズ、総決算!

この他にも雑誌『アニメージュ』『CU!』の最新号が入荷しています♪